

白山ふるさと文学賞

第十四回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【暁鳥敏部門】〈作文「母へのおもい」または「家族へのおもい」〉

小学生1・2年の部 最優秀賞

「大すきなじいちゃん」

松任小学校二年

八田はつた

真凜まりん

わたしにはいつも元気でやさしいじいちゃんがいます。学校からかえつてきたら、元気な声で

「おかえり。早いじ。」

といつもまつていてくれます。じいちゃんのおうちにあそびに行くと、わたしの大すきなりんごをむいてくれて、のむヨーグルトといつしょにテーブルに出してくれます。よるごはんにはにものやおでんをつくつてくれて、おねえちゃんと学校の話をしながらいっしょに食べるのがさいこうにおいしいです。あさは学校へ行くみちでいつもみまもりたいをしてくれています。ぜつたいあさ

「おはよう。」

とあいさつができるし、いつもにこにこで

「いってらっしゃい。」

と言つてくれるから今日もべんきょうがんばるぞと元気がでます。でも、そんなやさしいじいちゃんがとつぜん天ごくへ行つてしまひた。

もうすぐ春休みだつたから、いつしょにあそぶやくそくをたくさんしました。いつもみたいに海に行つておさんぽをしてうどんを食べたり、イオンに行つて

「アイス食べたい。」

とおねがいしていつしょにつめたいアイスを食べたり、たのしみがたくさんありました。

夏休みはいつしょにわかみやプールに行つてあそびたかつたし、きよねんよりもじょうずにほんおどりをしているのを見てほしかつたです。

ふゆ休みは家の前でいつも大きなすべりだいをつくつてくれました。かたくてがんじょうなすべりだいだつたから早くすべりました。じいちゃんはこんなすごいすべりだいを一人でつくれて名人だなと思いました。またつくつてほしかつたです。

じいちゃんとバスえんそくで行つたきょうりゅうパークもおはなみもわすれないよ。たまごやきのつくり方を教えてくれたこともじてん車のれんしゅうをしたこともぜつたいにわすれないよ。

もつともつといつしょにあそびたかつたのになんで天ごくに行つちゃつたの？だいじょうぶと思つていたけどまだかなしいからないちやいそなりました。だつてもうやさしくてなんでもしてくれるじいちゃんはいなくなつちやつたから。でもきつとじいちゃんは天ごくでやさしくみまもつてくれているから、がんばつているわたしを見ついてね。あさはじぶんでおきて早くじゅんびするね。おねえちゃんともなかよくするし、おどうどもたのしくあそぶね。おどうさんとおかあさんのお手つだいもたくさんするよ。じいちゃんいつもありがとう。天ごくでおばあちゃんと元気でいてね。ずっとずっと大すきだよ。